



平成25年度 京都府立医科大学附属病院

がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 開催報告

平成25年8月3日(土)・4日(日)に「緩和ケア研修会」を開催しました。

京都府では、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得すること」という目標に、緩和ケア研修を実施しています。

当日は府外からの参加者も含め、様々な施設から42名の医療従事者(医師・看護師・薬剤師・臨床心理士等)にご参加いただきました。

2日間にわたり、PEACEプログラムに基づく知識習得のための講義と、グループに分かれての実習を実施しました。

平成25年度 京都府立医科大学附属病院
がん診療に携わる医師に対する
緩和ケア研修会

日 時：平成25年8月3日(土)
研修分 A 10:00～12:00 (ラウンジセミナー棟)
研修分 B 14:10～17:00

平成25年8月4日(日)
研修分 C 9:00～12:15
研修分 D 12:30～15:25 (ラウンジセミナー棟)

会 場：京都府庁オーストラリアホール 3階 (別荘)
(京都市中京区西陣区 西075-211-5111)

対 象 者：がん診療に携わる医師及びメディカルスタッフ

参加料等：全てのプログラムを修了したと認められた参加者には、厚生労働省主催の緩和ケア研修会修了者の認定による研修修了者としての認定書(医師以外のメディカルスタッフには、認定修了者による研修修了者としての認定書)が交付されます。

～緩和ケアに関する最新より一層学ぶために～

協賛：京都府立医科大学附属病院 がん診療連携拠点病院 研修 研修センター
京都府立医科大学附属病院 がん診療連携拠点病院 研修 研修センター
京都府立医科大学附属病院 がん診療連携拠点病院 研修 研修センター
京都府立医科大学附属病院 がん診療連携拠点病院 研修 研修センター



「緩和ケア」の重要性を伝えたい!!!

患者やその家族が抱える身体的・精神的な苦痛などの軽減を図るもの。
がんの進行した時期だけではなく、がんの診断や治療初期段階から平行して行われることが望ましいとされています。

医師役・患者役になりきって、「オピオイド(医療用麻薬)の説明」と「ハットニュースの伝え方」についてのロールプレイを行いました。
患者の気持ちになって、医師に向き合うことで、普段の自分自身を振り返る機会になりました。

～ ロールプレイ ～ ↓



↑ ～ ワークショップ ～

多職種で構成されるグループに分かれて、「腎細胞がん患者の疼痛マネジメント」についての症例検討を行いました。
多職種ならではの意見がたくさん出、会場全体で意見を共有しました。

さまざまな施設のさまざまな医療従事者が、ともに学び・考え・意見を共有できる、大切な場であることを実感し、研修会は無事、終わることができました。

府立医大病院では、都道府県がん診療連携拠点病院として、今後もこのような研修会を通して、緩和ケアの大切さを広めていきます。より質の高い緩和ケア医療を『いつでも』『どこでも』『適切に』提供できるよう努力を重ねていきます。